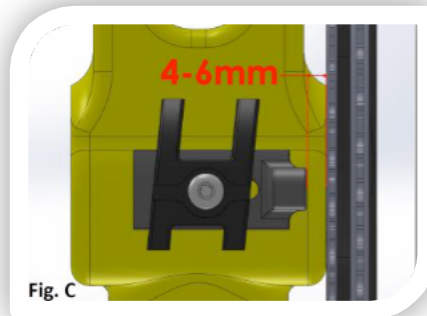
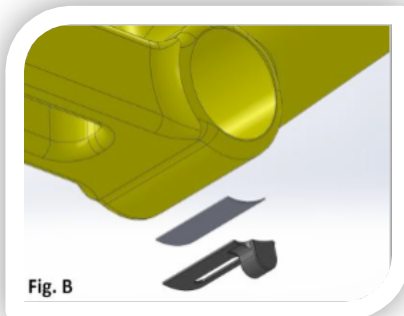


ケイデンスマグネット取付方法

いろんなフレームや部品に取り付けるために、このキットでは取り付け状態に適したマグネットを選んでいただけます。ですから、マグネットを取り付けるフレームによってパワーメータに対してマグネットがどんな位置関係になっても、パワーメータを最適に機能させることができます。理想的な取り付け場所を決定後に最適なマグネットを選択します。

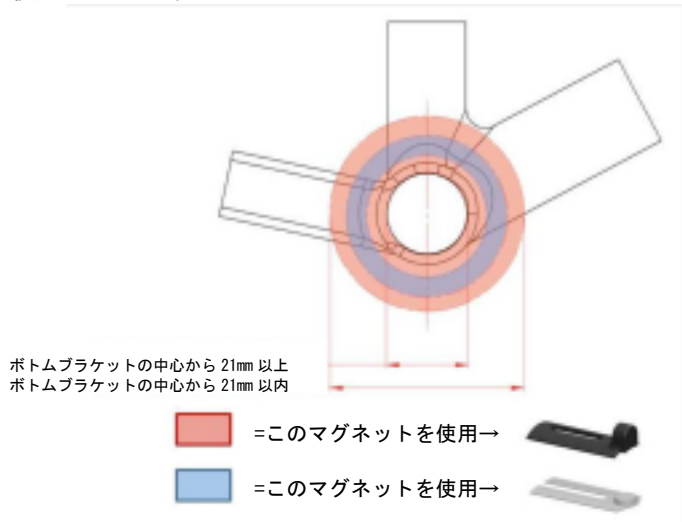
理想的な取り付け位置の決定：

- ・マグネットはパワーメータの裏面から 4~6mm 離れていなければなりません(図 C)。
- ・できれば、お客様の自転車のボトムブラケットのケーブルガイドをご使用ください(図 A)。
- ・ケーブルガイドが付いていない場合は、同梱の両面テープでマグネットをフレームに取り付けてください。



お客様の取り付け状態に適したマグネットを選定してください：

- ・ボトムブラケットの中心からマグネットの取付け位置までの距離を測り、マグネットの位置をパワーメータの裏面と合わせます。
- ・以下の指針はお客様の取り付け状況において、一番うまく機能するマグネットを選定するためのものです。マグネットがパワーメータの裏側で中央部分（青の部分）に来る場合、シルバーマグネットをご使用ください。マグネットがパワーメータの裏側で内側部分ないし外側部分（赤の部分）に来る場合、ブラックマグネットをご使用ください。



ヒント：マグネットを最終位置で固定する前にその位置で問題ないかマグネットをテストしてください。マグネットをテープで一時的にフレームに取り付けたり、その位置で押さえたりしてテストできます（マニュアル8ページのペアリング方法をご覧ください）注記：メイン画面に戻ってからケイデンスが表示されるまで数秒かかります。

取付け：

- ・ **ケーブルガイド**の下に取り付ける（図 A）：ケーブルガイドのボルトを外し、マウントをケーブルガイドの下に置いて、ボルトを取り付け、マグネットの位置をパワーメータの裏側から4~6mm 離します（図 C）。
重要：最終取付け後に前輪、後輪のディレイラーの調整が必要です。

ヒント：ケーブルガイドを取り外すには、まず後輪の一番大きい歯、前輪の一番大きなチェーンリングを下にして自転車を立たせるとやりやすいです。それから、ペダルを踏まないで、前輪と後輪のシフター/ディレイラーを一番小さな歯、一番小さなチェーンリングに移動させます。これでディレイラーケーブルのテンションがなくなり、ケーブルガイドを簡単に移動させることができます。

- ・ **両面テープ**で取り付ける（図 B）：マグネットをパワーメータの裏側から4~6mm 離れた位置に置きます。両面テープで取り付ける前に、マグネットとフレームの接着表面を付属のアルコールを浸した綿棒を使ってきれいにしておいて下さい。またフレームに取り付ける前に、両面テープの粘着面や取り付け面を触らないでください。

ヒント：マグネットの最適な位置を確保するためにプラスチックのケイデンスマグネットと両面テープの余分な部分をカットします。

取付けが正しくできたか確認します：

- ・ ペアリング方法についてはSRM ユーザーガイドの8ページをご覧ください。
- ・ ペアリングとケイデンスが問題なければ、マグネットの配置が正しいことになります。

注記：

- ・ これらの説明は単なる指針にすぎません。ご自分の自転車でのマグネットの最適な位置を得るには、別の方法が必要な場合もあります。
- ・ 走行中にパワー/ケイデンスデータが下がり、ゼロを示すことがあれば、マグネットの位置を変えるか、キット内の別のマグネットをご使用ください。